

八雲台つながる誌

Yagumodai Tsunagaru Tusinshi

12月

2019 Dec.



毎月第1・第3日曜日8時から、地区協運営委員の竹内さんを中心に、花壇の世話と、花壇まわりの清掃をしています。竹内さんにはそのほかに、八雲台公園の花壇のお世話、さらには八雲台小学校周辺道路の清掃にも年間を通して、ときにはお一人でご尽力いただいています。いつでもお手伝いは大歓迎です!ぜひ皆さま、お子様と、気軽な気持ちでご参加いただき、一緒により美しい学区にしていきたいしましょう♪

環境を美しく整えることで治安をよくする「割れ窓理論」。
子ども達とググってみてくださいね!



八雲台小地区協では、山野草とお花の専門家・石森先生と植栽計画を立てて、八雲台小の児童と一緒に甲州街道沿いの花壇で、花や山野草を育てています。甲州街道沿いの花壇を美しく整備することは、八雲台地域の犯罪の抑止力にも繋がる、とても大切な活動です。八雲台地区協は子ども達と一緒に、これからも花壇を整備して、地域貢献を目指します。



花は毎回、つつじヶ丘の小林園芸の小林さん(→)が校庭まで届けてくれます!いろいろな方の協力があるのですね!



栽培委員の子ども達に来るまで、PTAの皆さんにもご協力いただき、花壇と花壇前の歩道も清掃をします。



↑定期清掃で出たゴミです。



掃除を終えたら、花壇の土を耕し、穴を掘って花をセットし、子ども達には土をかぶせ、水をあげる作業をしてもらいます。石森先生が、植えるお花と手順について説明していただきます。



いも、場も地
ます、場に達の
す、区な経験
協の防
一、犯
同、と
願、学
っ、び
て、のど

目次

- 1p...環境・美化活動より 花壇整備
- 2p...第五分団長インタビュー
- 3p...第五分団を掘り下げる
- 4p...八雲台つながる掲示板「防災・防犯」「ふれあい」
- 5p...八雲台つながる掲示板「ふれあい」「環境・美化」
- 6p...八雲台つながる掲示板「環境・美化」 台風19号を受けて

第五分団長 Interview

ちさ母（かあ）がお届けする、八雲台小学校区活躍する方々へのインタビュー第二弾。今回は消防団山口芳明第五分団長です！

Q この度はインタビューを受けてくださり、ありがとうございます。さっそくですが、入団のきっかけを教えてください。

A わたしはもともと福岡の生まれなのですが、妻が地元出身で、もう退団していますが、義父が第五分団で活動していました。結婚して、自然な流れで僕も第五分団に入団しました。

Q 皆さん、ふだんはお仕事をされながら消防団の活動をされているのですか？

A そうです。第五分団は全員で20人が在籍していますが、わたしのようなサラリーマンが4、5人と、他には農家の方や自営業の方がいます。

Q お仕事との両立が難しくはないですか？特に分団長と聞くと、大変なお仕事だという印象です。

A 難しさを感じたことはないです。訓練など、体力もそれなりに使いますが、地元の消防団OB皆さんの応援と支えと、伝統の重みが大変励みになっています。それはわたし以外の団員も全員感じていると思います。OB皆さんとの繋がりには財産ですね。それほど消防団の繋がりは強固です。分団長としても同じで、分団長には代わりがないという責任の重みが、わたしの励みになっています。

Q 第五分団は具体的に度の様な活動・訓練をされているのですか？分団長のお仕事内容も教えてください。

A まず毎月1日・15日の月2回、20時から定期訓練をしています。消火栓・防火水槽を用いて実際にポンプ車及び可搬ポンプを操作し、水出し訓練を行っています。それと年に2回、ポンプ操法審査会があります。わたし達は「操法」と呼んでいますが、未経験者を優先に選手を5人選出し、団員全員で一致団結し特訓をします。ちょうど明日、消防大学でポンプ操法審査会があるので、分団員の士気も高まっています。

伝統と責任の重さ…それがわたしの原動力です。



子ども達にメッセージをお願いします
「大人になったら入ってね！！」

す。分団長の仕事としては、たづくりで年に6回、平日19時から分団長会議をしています。わたしは来年度の分団長会の会長を務めますが、会長の仕事は主に各分団長と本団のとりまとめ役となります。さて、実際に火災があった場合ですが、皆さん火災に遭遇したら、まず119番通報しますよね？すると消防本団が出動しますが、その際市役所の防災課からわたし達消防団に無線が入り、出動要請が来て団員全員にメールで招集がかかり、それぞれの都合のうえ詰め所に駆け付けます。団員が4人集まった時点でポンプ車を出動させることができるので、4人集まり次第現場に向かいます。4人集まらなければ出動できません。実際の消火活動は本団の消防士が主に行い、わたし達消防団員はサポートという立ち位置で消火活動に携わります。

Q 最後に分団長として心掛けていらっしゃることを教えてください。

A 火災による犯罪の抑止力になったらいいと思います。火災は難しいですが、わたしはとにかくにも、団員たちにいろいろな意味で無理をさせない！怪我をさせない！これを一番に考えています。

知らないことばかりで、大変勉強になりました。温かいお人柄がインタビューの最中も随所に感じられ、和気あいあいとした分団の雰囲気と相まって、穏やで有意義な時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました！！



ポンプ操法審査会を明日に控え、ポンプ車に磨きをかける皆さんの腕に、いつも増して力が入ります。



月2回の定期訓練の様子。いつも真剣です。



Vol.2 daigobundanwo horisageru

—— ポンプ操法審査会で調布市第五分団に密着しました



八雲台つながる掲示板

八雲台小学校地区協議会では「防災・防犯」事業、「ふれあい」事業、
「環境・美化」事業の3つの活動事業に取り組んでいます。

防災防犯

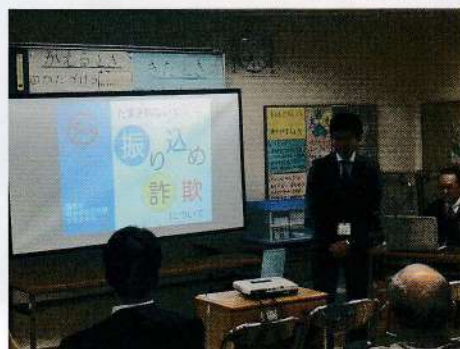
11月9日(土) 第七中学校で連合自治会主催の安全対策セミナーが開催されました。



※八雲台小地区協は協賛しています。



11月15日(金) 調布市防災安全課生活安全係の方々による、ユーフォールームで防犯講習会が開催され、校長先生はじめ、地域の皆さまにご受講いただきました。



注目!



2019年1～10月に被害額は都内で58億円、調布市は1億円です。調布市が都内で上位になっている理由として、無人ATMの数が多いからだそうです。防犯対策として調布市では、7月から自動通話録音機を無料・無期限で貸し出しています。対象は65歳以上の方が居住する世帯で、窓口はたづくり西館3階、総合防災安全課生活安全係です。知識を深め、八雲台小学区から振り込め詐欺を撃退しましょう!!



ふれあい



10月26日(土) にわくわく広場が開催されました。

ニュースポーツ体験交流会

10月4日(金) 地域の
高齢者と八雲台小1年
生の児童と一緒にニュ
ースポーツを体験する
会を開催しました!



次回は机の上でおこなうカー
リング「カーレット」の体験会を
行います。

☆2020年2月2日(日)

10時~ユーフォールーム

申込み: 080-2242-9749

♪65歳以上の方の参加をお待
ちしています♪

11月3日 文化の日に健康ウォー
キング教室とまち歩きを開催しました!

環境 美化

健康ウォーキング教室 & まち歩き

時間になると続々と参加
者の方々が集まってい
っしゃいます。何度か参加
するうちに顔見知りも増
え、和気あいあいとした雰
囲気のなか、レッスンが始
まります。



人込みの中を怪我せず通り
抜ける術をレクチャーして
くださいました。一人ずつ
入れ替わりながら、みな
で繰り返し練習しました。

Profile 野口祥子(のぐち さちこ)先生

ひめしゃら塾主催/元桐朋学園教員

民俗舞踊、整体、メビウス気流法、古武術、太極拳
などを体験しながら舞踊を学ぶ。1995年より独
自の舞踊活動を開始。神社やお寺の境内での公演
が多い。お面を付けての作品もある。「お面のワー
クショップ」「古武術から学んだダンスの身体技
法」等のワークショップも行っている。



レッスン終盤、皆さん、歩く姿が美しいです。

まち歩き

健康ウォーキング教室のあとはまち歩きをしました。



いざ出発！！



教室終了後、あらかじめ事業担当の梶井さんが決めたコースについて、みんなで打ち合わせをします



若葉の森にて



実篤公園にて

11月は国分寺崖線の樹林地、入間町・若葉町を歩きました。

「若葉の森3・1会」の野村さんに、生きものと共生する環境を守る活動のお話をして頂き、実篤公園では旧宅や庭のガイド付き見学。常楽院「思い出のアルバム歌碑」の前では皆で歌い、つつじヶ丘駅で解散。その後、八雲台小まで歩いて戻る方もおられ、毎回パワフルさに驚かされます。

常楽院「思い出のアルバム歌碑」前にて



そば打ち

12月は恒例のそば打ちをしました。自分で作ったおそばを食べながら、楽しい時間を過ごしました。



今回のそば打ち指導は深大寺のそば塾を卒業されている佐久間さんです



台風19号時の野川
(10月12日14:06撮影)



この夏、日本大きな被害をもたらした台風19号。調布市内でも、浸水による家屋半壊が130世帯、準半壊が84世帯、10%未満の半壊が10世帯、避難所避難者数は延べ約6000人、うち八雲台小学校に避難された方は約80人いらっしゃいました。近年、水害が増加している原因は温暖化だといわれています。温暖化の原因となる温室効果ガスの排出を抑制する、一人ひとりの努力はとても大切ですが、とはいえ、世界の温室効果ガスの排出を削減するためには時間がかかるため、ある程度の温暖化の影響は避けられないと予測されています。大きな災害を前にした時、わたし達は自分一人で挑むことは出来ません。しかし、“一人ひとりが近くにいる人と繋がる”ことはすぐに出来ます。一人ひとりが“つながる力”を磨き、みんなで地域の脆弱性への評価を共有し、対応策を考え、改善し、災害に強い地域社会を作りましょう。

あと数日で令和元年が終わります。子ども達は冬休み中、ケガや病気のないよう過ごし、3学期、また元気な姿を見せてくださね！地域の皆さま、先生方、諸団体の皆さま、令和2年もどうぞ、よろしくお願いいたします。